

# 平成 27 年 5 月 3 日 主日礼拝

礼拝開始: 午前 11 時

誕生祝福式

司 会 : 赤塚敏郎兄  
奏 楽 : 片岡立子姉  
おいのり : 平松友子姉  
さんび : 新聖歌 343 「ああ恵み」 1. 2. 4 節  
「あなたをたたえ」

使徒信条

聖書箇所 : マタイによる福音書 25 章 1~13 節 (P.41)  
(朗読: 持田樹理姉)

音 楽 : DVD アフレル 「 You raise me up 」

メッセージ: 「 居眠り上手 」 菅原 岳 牧師

賛美と献金 : 聖歌 656 「感謝します」

頌 栄 : ハレルヤ (B ♭)

祝 禱 :  
報 告 :

## 【瀬戸ニュース】

- ◇ 来週は母の日礼拝です。女性に感謝する日といたしましょう！
- ◇ 5 月 17 日(日)は「バーベキュー&ミニバザー・オープンミサ」です。  
大人 500 円、高校生以下 300 円で BBQ、焼きそば、おにぎり、  
小倉パンケーキ、ドリンク、フルーツ、わた菓子食べ放題？です。  
ご家族、友人をお誘いください。
- ◇ 6 月 28 日(日)に予定されていた川口紗奈江さんのピアノコンサートは  
駐車場の関係で 7 月 5 日(日)に変更になりました。よろしくお願ひします。
- ◇ 「祈りの課題」用紙をご記入の上  
受け付け脇のポストにご提出下さい。牧師がお祈りいたします。
- ◇ 感謝ノート 2015 完成！  
幻の CD? 「You&Kei」と「kei Song」発売中 各 300 円  
「持ち寄り音楽祭 Part6」の DVD も受注販売中 (1 枚 500 円)
- ◇ 祈禱会 木曜 10 時半、土曜掃除 10 時半 祈禱会 11 時 15 分
- ◇ 祝大 A コース ルカ 20 章~23 章 B コース サムエル記下 15 章~列王記上 5 章

◇次聖日礼拝奉仕者 [平成27年5月10日] [母の日ミサ]  
[司会: 片岡洋一兄、いのり: 持田樹理姉、聖書朗読: 大神久美姉]  
[ピアノ/リード: 米田 香姉]

[アシスト: 加藤由美子姉、大神 雄兄 ]

[献金: 太田昌子姉、岡田久枝姉 ] [受付: 赤塚孝子姉 ]

◇PA: 平松章治兄、岡前順勝兄 ◇週報編集: 片岡洋一兄

◇ホームページ編集: 大神真伸兄 ◇日曜学校: 大神久美姉



## 「情けは人の為ならず」

最近はこのことわざを「人に情けを掛けて助けてやる事は、結局はその人のために  
ならない」という意味に誤解している人が多いそうです。

先週の大和カルバリーチャペルの祈禱会では、私達と同じ支教会・関西カルバリーフ  
ェローシップの小崎淳広先生がメッセージを取り次いで下さいました。

お嬢さんの恵さんがご一緒に下さり、韓国での大学時代に受けた恵みをお証して  
下さいました。恵さんが大学に入ってから小崎先生が関西で開拓伝道を始められまし  
た。恵さんはお父さんの経済的負担を支えようと一年間アルバイトを一生懸命してお金  
を貯めたそうです。そんなある日、ルームメイトが泣きながら学校を辞めなければなら  
ないと言いました。彼女のお父さんも開拓伝道をしている台湾の牧師でしたが、学費が払  
えずにいるというのです。その金額を訪ねると恵さんが一生懸命に貯めたお金と同額だ  
ったそうです。「主よ〜」恵さんは心の中で驚いて言ったそうです。でも、主の御旨だと信  
じて彼女にそのお金をプレゼントしました！！その知らせを聞いた小崎先生は当初「え  
え?! 本当?!」と思ったそうです(笑)。でも、主の御旨ならば 大丈夫と思ったそう  
です。すると間もなくして、恵さんに「残り3年間の授業料を出して下さいという方がいるの  
ですが、その奨学金を受け取って下さいますか?」というお話が舞い込んで来て、主の  
御名をあがめたそうです。聖書にはこうあります。「善を行うのに飽いてはいけません。  
失望せずにいれば、時期が来て、刈り取ることにになります。ですから、私たちは、機会  
のあるたびに、すべての人に対して、特に信仰の家族の人たちに善を行いましょ。」  
(ガラテヤ6:9-10)

ネパールの大地震のニュースに皆さんも心を痛めておられる事と思います。阪神の  
時、東日本の時に世界の人々が差し伸べてくれた手を忘れてはならないと思います。  
私達の教会では何が出来るのか共に考えて参りましょう。

ちなみに、冒頭のことわざの正しい意味は「人に情けを掛けておくと、巡り巡って結局  
は自分のためになる」というものです。聖書の法則に合っていますね！！

瀬戸カルバリーチャペル 担任牧師 菅原 岳

しかし、思慮深い者たちは、自分たちのあかりと一緒に、  
入れものの中に油を用意していた。  
(マタイによる福音書二十五章四節)